

～第11回(平成24年度)学生生活実態調査報告書から検証～

兵教生の教員志望理由

**大学院生の方が職業としての意識強い**

学部生の教員志望理由の第1位は前回調査(平成22年度)と同じく「子どもが好きだから」(63.5%)だった。第2位「教えてもらった先生にあげられて」(49.3%)、第3位「安定した収入が保証されるから」(36.7%)と、どちらかと言えば感情に直接掛かるものが上位を占める。

一方、大学院生(現職教員を除く)は「世の中や他人のためになる仕事だから」(49.0%)が第1位で、「自分の適性・能力に合う仕事だから」(41.5%)、「子どもが好きだから」(39.5%)が続く。4年間の大学生活を経験している分、自己分析がしっかりでき、冷静に社会を見ていることの表れではないかと考えられる。

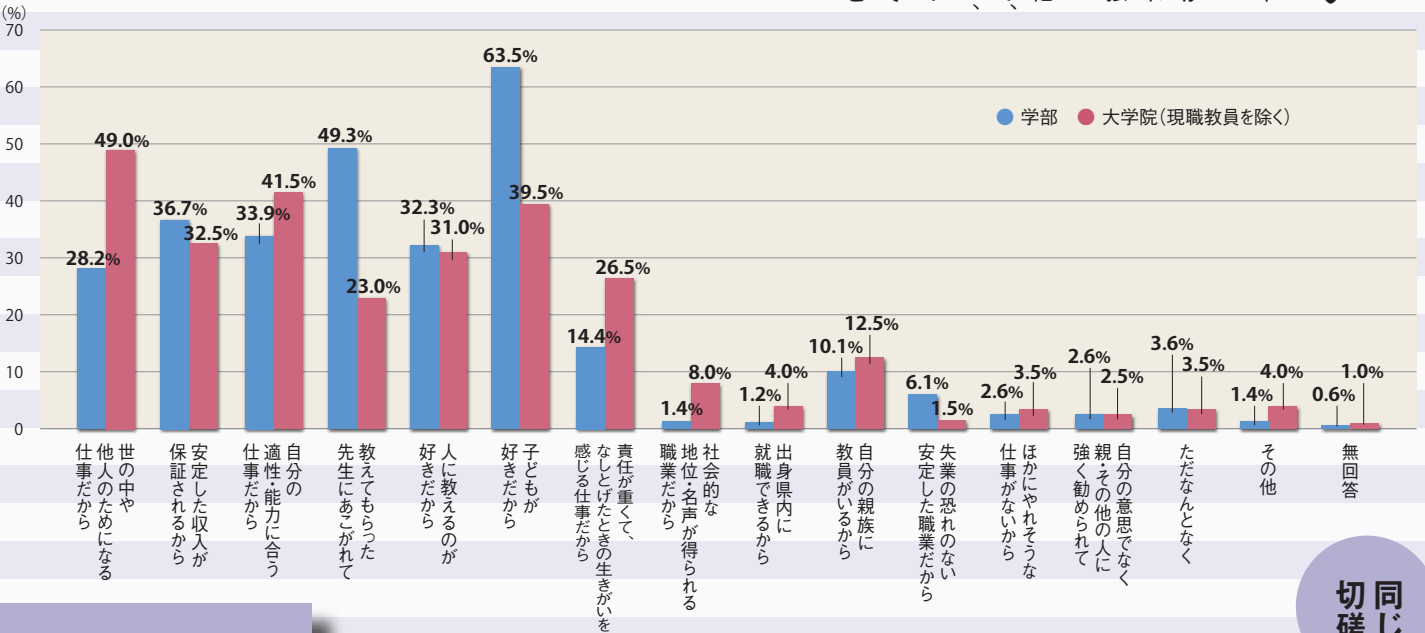
「子どもが好きだから教員になりたい」というのはよく耳にする志望動機ですが、教員が子どもを好きなのは当たり前です。学生の皆さんが将来教員となり、あなたの大好きな子どもたちが課題や困難に直面したとき、周りの大人(同僚教員、保護者、地域の人々など)と協力し、チームとして立ち向かうことが求められます。そのときのためにも、学生時代から積極的に周りの大人と話し、コミュニケーション能力を高めることが大切だと思います。

大人との会話に慣れることが将来役に立つ



ふじ わら けん じ  
**藤原賢二**  
キャリア支援課長

教員等に就きたいと考えるのはどのような理由からですか。(複数回答可)



私が教員を目指した理由は、人に何かを伝えることに魅力を感じたからです。しかし、これといった志望動機がないままでは良くないと、教員としての専門性を高めることと同時に、なぜ教員になりたいのか、教員として自分がすべきことは何なのかをあらためて考えるために大学院へ進みました。入学後、ボランティア活動に取り組む中で、社会を自律的に生きる生徒を育てたいという明確な思いが芽生えました。この思いを大切に、子どもたちに誰もが生活しやすい社会をつくっていく力を身に付けさせてあげたいと考えています。



う い ひろ たか  
**宇井大貴**さん  
大学院修士課程  
認識形成系教育コース2年

大学院で明確になった教員になりたい理由

子どもと共に学び、互いに成長できるという点に魅力を感じ、教員を志望しました。小、中、高と多くの素晴らしい先生方と出会ってきましたが、私もそのような愛情を持って子どもたちと接し、楽しいことも苦しいことも一緒に乗り越えられる教員になりたいと考えています。兵教大は教育実習などの実践的なカリキュラムが組まれているので、より専門的に学ぶことができます。また、兵庫県で教員になることを目指している仲間が大勢いるので、共に励まし合いながら自分を高めていくことができます。



ふじ わら  
**藤原みどり**さん  
学校教育学部  
言語系コース4年

同じ夢を持つ仲間と切磋琢磨